

## 第39回国際キワニス日本地区年次総会埼玉大会

日時：2015年9月4日（金）14:30～16:50

場所：清水園 1階 寿

1. 開会宣言：定刻に小川ガバナー代理から開会宣言がなされ、日本地区規約第9条に基づき、議長に就いた。
2. 国歌斉唱
3. ガバナー代理並びに来賓挨拶
  - (1) 小川ガバナー代理



国際キワニス創立 100 周年となった記念すべき年に、本総会が 400 名近い多数の参加を得て、この埼玉で開催されることを心より感謝する。堀井ガバナーの昨年 10 月の不慮の事故により、ガバナー代理を務めてきたが、各クラブ、会員の皆様のご協力とご支援のお蔭で、今年度事業の重点項目についてはそれなりに大きな成果を得ることが出来た。これからも世界及び日本の子ども達のために、次の 50 年、100 年に向かってキワニス活動を一層活発に推進して参りたい。最後に、この 1 年間、準備にご尽力いただいた埼玉クラブの皆様には厚く御礼申し上げます。

- (2) ケニス・アロベラ国際理事（日本地区カウンセラー）

この荣誉ある総会にカウンセラーとして参加でき、光栄である。日本地区は、会員増強とエリミネイト・キャンペーンで大きな成果を上げている。会員増強では今年度 3 クラブが新設され、キワニスの名の下に子ども達に奉仕する手が更に広がった。エリミネイトでは、日本は世界で 6 つしかない目標 100% 達成地区であり、会員一人当たり寄付額は世界第 2 位である。今後とも、小川ガバナー代理とそのチーム、そして倉田次期ガバナーのリーダーシップに期待したい。日本の人々の文化、規律、礼節が、国及び日本地区の成功を確かなものにしていくと信じている。



- (3) フアン・チア・シン国際キワニス財団次々期会長（日本地区カウンセラー）



100 周年を祝う今年、我々はエリミネイト・プロジェクトで 1 億ドルを調達した。日本地区には、このキャンペーンで最高レベルの貢献をいただいている。国際キワニス財団では、2013 年から新しいアニュアル・ギビング・プログラムを開始した。これはクラブのみならず個人（キワニアン以外も）も表彰の対象としており、財団の実のある財源となっている。また、我々は ASPAC の委員長の研修を行っており、コミュニケーション

を良くしている。私は財団の次々期会長に選任されたが、これからも皆様のご厚誼とご支援を賜れば幸いである。

#### 4. 総会議題並びに報告事項

議長から、議事に入る前に定足数の確認を求められ、石原事務総長がクラブ数 33 に対し 31 クラブが出席、地区規約第 41 条に基づく必要な定足数の 3 分の 1 を超えており、本総会は有効に成立している旨報告した。

##### 第 1 号議案：2015-2016 年度事業計画書並びに予算書

事務総長より、資料に沿って来年度事業計画と予算書の趣旨説明があり、原案通り、満場一致で承認された。

##### 第 2 号議案：2015-2016 年度役員、監事の選任

来年度の役員として、ガバナーに倉田康男（高松）、次期ガバナーに藤原武平太（東京）、事務総長兼財務担当に淡輪敬三（東京）の各氏が選任された。また、監事に堀辰雄（横浜）氏が承認された。なお、その他の人事についても資料の通り報告され、了承された。

##### 第 3 号議案：第 41 回日本地区年次総会開催地

平成 29 年の年次総会が松江で開催されることが議決され、目下、9 月 8 日（金）の日程で計画されていることが報告された。

##### 第 4 号議案：埼玉大会決議（案）

埼玉大会決議については役員会からの提案通り、満場一致で承認された。

##### 第 5 号議案：新日本地区規約（案）の採択並びに規約第 10 条第 1 項に基づく地区年会費に関する総会決議（案）

議長の要請により、伊藤規約委員長が資料に基づき、新規約改正の趣旨、概要等について説明、また、地区年会費をクラブ正会員一人当たり 10,000 円（休会員、大学生及びそれらに準ずるものはその半額）とする決議案を提示した。そこで議長が、質問、意見がないことを確認し、一括して採決を問うたところ、満場一致で承認された。

##### 報告事項 1：堀井ガバナーの最近の状況

事務総長から、現在リハビリ中の堀井ガバナーをお見舞いした際の状況が報告され、出席者一同で堀井ガバナーの早期ご快復を祈念した。

##### 報告事項 2：2014-2015 年度事業経過報告並びに決算見込み

事務総長から資料に沿って、本年度 7 月末時点での事業経過報告と決算見込みが説明された。主な内容は、①3 クラブが新設されたこともあって、会員数は 1,946 名となり地区発足以来ピークとなった、②日本地区全体の共通プロジェクト選定の検討結果（現時点では時期尚早）、③キワニスワンデー・コンテストには 16 件 19 クラブの参加があったが、金賞は関西北ディビジョン、④地区最初の SLP としてサークル K 芦屋が発足、等。また、決算見込みについては、収入はほぼ当初予算通りであるが、国際関係費、委員会活動費の減少により、収支差額は約 93 万円の黒字見込み、というもの。

##### 報告事項 3：キワニス日本財団（KJF）からの報告

小池理事長から、まず KJF 運営協力金及び災害義援金に各クラブから多くのご協力があったことに感謝の念が述べられ、その後、資料に沿って KJF の来年度事業計画の概要が説明された。

#### 報告事項 4：キワニス共同基金からの報告

佐藤運営委員長から、本年度 7 月末までの支援活動及び収支報告があった。

また、基金の運営も 5 年目に入り、来年度が区切りとなることから、支援プログラム次第で残金が出れば、何かモニュメントのような形になるものを残したいとの意向が示された。

#### 報告事項 5：エリミネイト・プロジェクトの報告

北里日本地区コーディネーターから、世界全体及び日本地区の達成状況の説明があった。このプロジェクトは、一応、本年 12 月が締め切りとなるが、各クラブにおかれてはプレッジの達成に努めていただきたいとの付言があった。

#### 報告事項 6：国際会費の値上げについて

北里国際理事から、インディアナポリス大会の様子を踏まえながら資料に沿って、国際会費増額（日本地区は Tier A 国として現行\$42 から\$52 へ\$10 増額）についての説明があった。

### 5. 2015-2016 年度ガバナー方針説明

倉田次期ガバナーから、「キワニスクラブは地域の子供達と共に活動します」というキャッチフレーズを掲げて、国際キワニスの「I-Plan」（活動戦略）に沿いつつ、①成長戦略ではクラブ新設と会員数 2,000 人以上の達成、②次世代の育成に力を入れる、③子ども最優先の活動では、どのクラブも独自の看板活動を定める、という 3 点を来年度の重点項目にしたい旨の方針が示された。

### 6. 第 40 回日本地区年次総会開催地会長挨拶

西宮クラブの安原会長から、来年 9 月 9 日（金）に大阪のリーガロイヤルホテルに於いて西宮大会を開催するので、是非、多数のご参加をお願いしたいとの挨拶があった。

### 7. 表彰式

#### (1) 第 51 回日本キワニス文化賞

小鹿野歌舞伎保存会（小鹿野子ども歌舞伎）、小針領家獅子舞保存会の 2 団体



#### (2) ロバート P.コネリー賞/日本キワニス財団英雄的自己犠牲賞

故中村のり子氏（享年 60 歳、本庄市）

#### (3) 国際キワニス/国際キワニス財団からの表彰伝達

#### (4) 日本地区の表彰

キワニスワンデー・コンテストを含む地区からの表彰を、該当クラブ、優秀会員に対し行った。

